

《令和3年度 子ども未来部 組織目標》

様式2

◆目標管理者

部長 金森 敏行

◆部局の役割・目標像

「笑顔」輝くまち 未来を担う子ども育成プロジェクト
「子どもの人権が尊重され、子どもと大人がともに育ちあい、笑顔輝くまち草津」、「子ども・若者が自分らしく生きるまち草津」を目指す。

◆切れ目のない子育て支援を充実します。

- ・「総合相談窓口の充実」を行います。
- ・「母子保健サービスの充実」を行います。
- ・「子ども・子育て支援、ネットワークの充実」を行います。

◆就学前教育・保育を充実します。

- ・質の高い就学前教育・保育を提供します
- ・優秀な人材の確保と育成体制の強化を図ります。
- ・学校教育への円滑な接続を目指します。
- ・「就学前教育・保育施設の充実」を行います。

◆安心して子育てができる環境づくりを進めます。

- ・児童虐待防止の広報、啓発等に努めるとともに、通告等に対して迅速に対応するための相談窓口の充実を図ります。
- ・「ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援の充実」を行います。
- ・「発達障害児等への支援の充実」を行います。
- ・「児童育成クラブの充実」を行います。
- ・「子育てに伴う経済的負担の軽減」を図ります。

◆子ども・若者の育成支援を進めます。

- ・「子ども・若者支援体制の整備」を進めます。
- ・「青少年健全育成の推進の充実」を行います。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	3	0	0	3	-	-	-
子ども・若者政策課	6	0	3	9	681,531	485,612	195,919
子ども家庭課	8	1	16	25	2,925,693	2,242,555	683,138
家庭児童相談室	6	0	9	15	52,007	21,060	30,947
子育て相談センター	10	1	18	29	322,083	74,646	247,437
発達支援センター	9	0	25	34	870,344	623,669	246,675
幼児課	14	0	13	27	1,291,640	297,228	994,412
幼児施設課	8	0	5	13	6,373,892	4,179,917	2,193,975
幼稚園(幼稚園型認定こども園含む)	73	2	113	188	-	-	-
保育園(幼保連携型認定こども園含む)	83	1	146	230	-	-	-
合計	220	5	348	573	12,517,190	7,924,687	4,592,503

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R3 主な事業
1	＜子育て総合相談窓口の充実、母子保健サービスの充実＞ 少子化や核家族化、都市化と地域関係の希薄化、転入家庭など周囲の支援が得られない家庭が多く、また若年・高齢出産の増加等により、子育て家庭の抱える課題も多岐に渡ってきており、育児不安等を訴える方も増加しています。	①	妊娠から子育てに関する不安を解消するとともに切れ目ない支援につなげるため、子育て支援施設とも連携して相談しやすい環境づくりに努め、継続的な支援を円滑に実施できるよう関係機関で情報連携に努めます。 また、転入家族や核家族といった家庭を含め、周囲の支援が得にくい家庭が安心して子育ての悩み等を相談できるよう、総合相談の充実に努めます。	①	【取組】 ・出産を希望する世帯を支援するため、高額な医療費がかかる特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、子どもを産みやすい環境の充実を図ります。 ・子育て支援の取組を市民に十分認識されるよう、総合相談窓口の周知・啓発に努めます。 ・関係機関との情報連携の強化により情報の把握に努め、継続的な支援の実施により妊娠期からの切れ目ない支援を実施し、子育て不安の軽減を図ります。 特定不妊治療助成事業(事業費 18,360千円) 総合相談事業(事業費 4,337千円) 養育支援訪問事業(事業費 3,712千円) 妊娠・出産包括支援事業(事業費 5,425千円) 【成果目標】 「切れ目のない子育て支援」についての市民の満足度 27.8% (令和2年度実績 26.8%)	分野:子ども子育て・若者 施策:子育て相談窓口の充実、母子保健サービスの充実	①未来を担う子ども育成プロジェクト

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R3 主な事業	
2	＜子ども・子育て支援、ネットワークの充実＞ ・核家族化やコミュニティの希薄化等により周囲の支援を得られにくい環境のなか、子育て家庭の抱える課題も多岐に渡っており、子育てに対し不安や負担を抱えている保護者が増加しています。 ・「第二期草津市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援に係る現状とニーズを踏まえ、今後の幼児期の教育・保育や地域子育て支援事業の計画的な整備と、本市の子どもの健やかな育ちと子育てを支援する環境の確保を図っています。	➡	②	・子育て家庭の孤立を防ぎ、気軽に子育て中の親子が交流できるよう、集える場を整えるとともに、子育て情報が取得できる取り組みを進めます。 ・子育て応援支援を行い、子育ての負担感の軽減と家庭の孤立防止を図ります。 ・安心して子どもを産み、子育てしやすいまちを推進するため、計画にかかる事業の実施状況および重点的な取組事項の数値目標について、進捗管理を行います。	➡	【取組】 ・子育て支援拠点施設を運営します。 ミナクサ☆ひろば、ココクルひろば(事業費 55,014千円) ・子育て支援センターを運営します。 地域子育て支援センター2箇所(みのり・モンチ)(事業費 16,304千円) ・子ども家庭総合支援拠点親子交流スペースを運営します。 ぽかぽかタウン(事業費 12,760千円) ②・つどいの広場くれよんを運営します。(事業費 4,086千円) ・児童館の運営を支援します。 笠縫東児童センター(事業費 9,407千円) ・子育て支援拠点施設において、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底するため、必要な物品等の購入を行います。(120千円) 【成果目標】 地域子育て支援拠点事業での年間延べ利用者数 98,602人(令和2年度実績 48,569人)	分野:子ども子育て・若者 施策:子ども・子育て支援、 ネットワークの充実	①未来を担う子ども育成プロジェクト ⑥新型コロナウイルス感染症対策関連予算
	③			【取組】 ・1歳までの乳幼児を養育している家庭に、子育て応援ヘルパーを派遣します。また、特に子育ての負担の大きい多胎児を養育する家庭には、子どもが3歳になるまでに拡大し、利用をすすめます。 多胎児家庭ホームヘルパー派遣事業(事業費 2,412千円) 草津っ子サポート事業(事業費 818千円) 【成果目標】 ・多胎児家庭ホームヘルパー派遣事業 791時間 (令和2年度 407.5時間) ・草津っ子サポート事業 276時間 (令和2年度 172時間)		分野:子ども・子育て・若者 施策:子ども・子育て支援、 ネットワークの充実	①未来を担う子ども育成プロジェクト	
	④			【取組】 ・子ども・子育て会議を開催し、「第二期草津市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理を行います。(事業費1,228千円) ・経済的理由で結婚に踏み出せない世帯を対象に、結婚に伴う新生活に必要な住居費用や引っ越しに係る費用を支援します。(事業費 16,343千円) 【成果目標】 ・子ども・子育て会議の開催回数 2回(令和2年度 2回) ・結婚新生活支援 30組(令和2年度 18組)		分野:子ども・子育て・若者 施策:子ども・子育て支援、 ネットワークの充実	①未来を担う子ども育成プロジェクト	

1. 現状認識 （重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など）		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R3 主な事業		
3	＜質の高い就学前教育・保育の充実＞ ・子どもの発達や特性に応じた質の高い就学前教育・保育の一体的な提供と、優秀な保育人材の確保・育成を推進し、子育て期の保護者が安心して仕事と子育てを両立できるよう支援する必要があります。 ・草津市における「就学前教育・保育の質の向上」を図るため、小学校や民間保育園等とのさらなる連携を図り、小学校への円滑な接続や教育・保育内容の充実を図る必要があります。	➡	③	・質の高い就学前教育・保育を提供します。 ・優秀な人材の確保と育成体制の強化を行います。 ・学校教育への円滑な接続を目指します。	➡	⑤	質の高い就学前教育・保育の提供 【取組】 - 一人ひとりの保育者が多様な保育ニーズに対応できるよう、実践力のある保育者としての専門性がより高められるような研修を実施します。 - 乳幼児の発達や特性に合わせた効果的な運動遊びを工夫し、幼児が自発的に楽しく体を動かしたり、多様な動きを身に着けることができるよう運動プログラムを作成します。また、本モデル事業を通して、職員の指導力の向上や保護者の意識向上を目指します。 - 新しい保育指針や教育・保育要領の趣旨を踏まえ、既存の草津市就学前教育・保育カリキュラムを見直します。 - 地域ぐるみで子どもの育ちを保障する環境づくりを行うため、昨年度作成したリーフレットを活用した職員研修を実施し、職員の資質向上に努めます。 - 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るため、衛生用品や備品等の購入を行います。 - 病気等で保育所等に通えない児童を一時的に預かり、子育て期の保護者が安心して仕事や子育てを両立できるよう支援します。（事業費 34,406千円） 【成果目標】 - 研修会実施(年10回程度) - 幼児期の運動遊びプログラムの作成 - 草津市就学前教育・保育カリキュラムの見直し 「心豊かでたくましい子どもの育成」～乳幼児期の豊かな体験を未来につなぐ～啓発リーフレットを活用した研修会の実施	分野：子ども・子育て・若者 施策：質の高い就学前教育・保育の提供	①未来を担う子ども育成プロジェクト ⑥新型コロナウイルス感染症対策関連予算
4	＜就学前教育・保育施設の整備＞ （待機児童の解消） 「子ども・子育て支援新制度」では、支援の量の拡充を求めており、本市では、これまで保育需要の増加に対応するため、草津市子ども子育て支援事業計画に基づき、施設整備による定員増を図ってきました。計画上保育需要のピークは令和4年4月であり、その需要を賄うための施設整備を令和2年度までに完了し、令和3年4月に必要な定員を確保しました。一方で待機児童の解消には、保育の担い手である保育士の確保が喫緊の課題であることから、保育士の就業継続および離職防止を図り、保育士が働きやすい環境を整備するため支援を行う必要があります。	➡	④	（待機児童の解消） 第二期草津市子ども・子育て支援事業計画に基づき必要な保育定員の確保を図りましたが、待機児童の解消には保育士等の安定的な確保が必須であることから、処遇改善事業等の取組を推進します。	➡	⑧	【取組】 - 保育士確保対策として、私立認可保育所等を対象に支援を行います。 - 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金(事業費25,476千円) - 保育体制強化事業補助金(事業費41,760千円) - 保育士等処遇改善費補助金(事業費76,027千円) - 保育補助者雇上強化事業補助金(事業費50,862千円) - 安定的な教育・保育の提供に向けて、私立認可保育所等において新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底するため、必要な物品等の購入等に対して支援を行います。 - 保育環境改善等事業補助金(事業費21,600千円) - 運営補助金(延長保育・一時預かり特例措置分)(事業費12,300千円) 【成果目標】 - 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 18施設、38人（令和2年度 13施設、27人） - 保育体制強化事業補助金 24施設（令和2年度 18施設） - 保育士等処遇改善費補助金 27施設（令和2年度 23施設、843人） - 保育補助者雇上強化事業補助金 26施設、33人(令和2年度 13施設、22人) - 保育環境改善等事業補助金 54施設(令和2年度 47施設) - 運営補助金(延長保育・一時預かり特例措置分) 延長保育 41施設、一時預かり 12施設（令和2年度 延長保育 20施設 一時預かり 8施設）	分野：子ども・子育て・若者 施策：質の高い就学前教育・保育の提供	⑥新型コロナウイルス感染症対策関連予算

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R3 主な事業
5	<就学前教育・保育施設の整備> 子ども・子育て支援新制度において、認定こども園の普及が推進されており、保育所における待機児童の発生や幼稚園における定員割れ、3歳児の未就園層に対する幼児教育の提供等の本市の抱える課題を解決するためにも、子どもの視点に立った質の高い幼児教育と保育の一体的提供(幼保一体化)に向け、認定こども園を推進することが求められています。	➡	⑤ 第二期草津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い幼児教育と保育の一体的な提供に向けて、公立幼稚園の認定こども園化に向けた施設改修に取り組みます。	➡	⑨【取組】 ・(仮称)矢倉認定こども園整備工事を実施します。 (事業費397,696千円 ※うち、令和2年度予算明許繰越費 322,976千円) ・常盤こども園の既存棟改修工事を実施します。 (事業費106,532千円 ※令和2年度予算繰越明許費) 【成果目標】 ・(仮称)矢倉認定こども園整備工事を完了します。 (令和2年度実施設計、仮設園舎建設、令和3年度既存棟改修・一部解体および増築棟建設工事、駐車場整備工事、仮設園舎賃借) ・常盤こども園の既存棟改修工事を完了します。 (令和元年度増築棟建設工事、令和2年度修正設計、令和3年度既存棟改修工事)	分野:子ども・子育て・若者 施策:質の高い就学前教育・保育の提供	①未来を担う子ども育成プロジェクト
6	<児童虐待の防止と早期発見・早期対応> 全国的に、児童虐待相談対応件数の増加や重篤な児童虐待事件が後を絶たないなど、児童虐待は深刻な社会問題となっています。草津市においても児童虐待相談対応件数は年々増加しており、コロナ禍による経済不安や家庭環境の変化など、子どもを取り巻く環境はこれまで以上に見守りと適切な支援が必要とされる状況にあります。児童虐待を未然に防止し、早期発見・早期対応を行う支援体制のさらなる強化が求められています。	➡	⑥ 児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応のために、妊娠期からの継続的な支援が行えるよう子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談・支援窓口の充実に努めます。また、迅速かつ適切な支援を行うため、要保護児童対策地域協議会における関係機関連携の強化を図ります。	➡	⑩【取組】 子ども家庭総合支援拠点での母子保健・家庭相談主管課の連携強化に併せ、要保護児童対策地域協議会における関係機関連携強化に努めます。市民・関係機関に向けた児童虐待防止のための広報啓発や「体罰によらない子育て」講座開催に取り組みます。 (家庭児童相談事業費 48,001千円) 【成果目標】 ・要保護児童対策地域協議会(代表者会議)の開催回数 2回(令和2年度 2回) ・児童虐待防止の啓発研修の実施回数 1回(令和2年度 1回) ・養育支援会議の開催回数 24回(令和2年度24回) ・「体罰によらない子育て」の学びの提供 ①CAP研修の開催回数 5回(令和2年度 4回) ②保護者向けCSP連続講座、サポート講座の実施回数 7回(令和2年度 6回) ③子育てサポーター(オレンジメイト)育成のための基礎講座の実施 参加人数 10人(令和2年度 4人)	分野:子ども・子育て・若者 施策:児童虐待の防止と早期発見・早期対応	
7	<ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援の充実> ひとり親家庭等では、精神面や経済面で不安定な状況に置かれる傾向にあります。家庭の不安定な状態が子どもの成長、進路選択に影響することが懸念されます。	➡	⑦ ・ひとり親家庭等の自立と生活の安定のため、相談体制、経済的支援や日常生活の支援等の充実を図ります。 ・子どもが子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、将来の夢や目標の実現に向かっていけるよう、子どもの貧困対策や子どもの居場所づくりを進めます。 ・子どもの成長・進路選択に影響のない養育計画の作成意識を高めます。	➡	⑪【取組】 ・ひとり親家庭に対し、母子・父子自立支援員による相談対応や支援制度の利用をすすめ、自立に向けた支援を行います。(事業費 10,041千円) ・貧困の連鎖を防止するため、ひとり親家庭や経済的困窮家庭等の中学生を対象に生活習慣の習得支援、学習支援、食の提供を行う「子どもの居場所」を2か所実施します。(事業費 4,565千円) ・子どもの貧困対策にかかる取り組みを推進するとともに、困難を抱える子どもや家庭に適切な支援に結びつくよう支援体制づくりをすすめます。 ・養育費の受け取りを推進するため、公正証書等の作成に必要な費用を支援します。(事業費 440千円) 【成果目標】 ・ひとり親家庭の子どもの進学率(中学校卒業後) 96.9% ・養育費確保推進事業の利用者 13人	分野:子ども・子育て・若者 施策:ひとり親家庭等や経済的困窮家庭等への支援の充実	①未来を担う子ども育成プロジェクト

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R3 主な事業
8	<発達障害児等への支援の充実> ・早期就園率が高まり、療育の必要性がありながら療育を経験せずに就学前教育・保育施設に就園し、集団保育になじみにくい状況や、子育ての見通しがもたにくく不安をもつ保護者の増加が懸念されます。 ・地域に障害児相談支援事業所が開設されていますが、障害児通所支援の利用者も増加しており、きめ細やかな相談支援体制を行うことができるよう、引き続き、民間事業所において相談支援を担うことができるよう体制の整備が求められています。	⑧	地域の中核的な障害児支援の拠点として、児童発達支援センターの機能強化を進めるとともに、障害が疑われる子どもをサービスにつなげ、保護者が安心して子どもを育てることができる環境を整えていきます。	⑫	【取組】 ・子どもの発達や障害に応じた早期療育とその家族支援を行うために通所支援「湖の子園」の機能強化に向けた取り組みを進めます。 (事業費 71,440千円) 【成果目標】 ・通所支援(湖の子園)利用者数 45人 (令和2年度 37人) ・親子体験通園教室の利用者数 20人 (令和2年度 19人) ・就学前教育・保育施設への専門相談研修実施 2回(新規)	分野:子ども・子育て・若者 施策:発達障害児等への支援の充実	
		⑨	発達、医療、福祉、就労等の多様な相談ニーズに対応し、乳幼児期から成人期にかけて切れ目のない相談支援に取り組みます。	⑬	【取組】 - 乳幼児期から成人期にかけて切れ目のない相談支援に取り組みます。 (事業費 69,370千円) 【成果目標】 ・発達相談者数 480人(令和2年度 471人) ・巡回相談者数 82人(令和2年度 81人) ・5歳相談者数 45人(令和2年度 47人) ・小・中学・高校の相談者数 588人(令和2年度 565人) ・成人期の相談者数 132人(令和2年度 110人)	分野:子ども・子育て・若者 施策:発達障害児等への支援の充実	
		⑩	①障害のある子どもに対して、児童発達支援や保育所等訪問支援などの障害児通所支援に早期からつなぎ、発達支援に取り組みます。 ②草津市指定特定相談支援等体制強化費補助金を活用しながら、民間の障害児相談支援事業所の体制を強化し、地域の相談支援体制の充実を図ります。	⑭	【取組】①民間事業所利用者負担分補助 ・障害のある就学前の子どもが、民間事業所の実施する児童発達支援、保育所等訪問支援のサービスを利用する場合に利用者負担分を全額支援します。 民間事業所利用者負担分補助 (事業費:662千円) 【成果目標】 - 民間事業所利用者数 114人(令和2年度 95人) 【取組】②障害相談支援事業所体制強化費 ・障害のある子どもが障害児通所支援サービス等を利用する場合の、障害児支援利用計画等の作成に対して、民間の相談支援事業所に対して、市の補助制度を行います。 障害相談支援事業所体制強化費 (事業費 3,104千円) 【成果目標】 - 障害相談支援事業所体制強化費の利用数 3事業所 93人 (令和2年度 2事業所 62人)	分野:子ども・子育て・若者 施策:発達障害児等への支援の充実	
9	<児童育成クラブの充実> 仕事と子育ての両立をサポートし、安心して就労できる環境づくりを図るため、放課後における児童の安全、安心な居場所づくりとしての児童育成クラブの充実が求められています。	⑪	子どもが安全で安心でき、健やかに育まれる放課後の活動場所の確保のため、多様な保育ニーズに対応できる児童育成クラブの充実と施設の整備を図ります。	⑮	【取組】 ・公設児童育成クラブの管理運営を行います。(事業費 345,432千円) ・増加が著しい学区に民設児童育成クラブを開設するとともに、民設児童育成クラブの運営支援を行います。(令和4年開設3箇所、運営支援20箇所)(事業費 199,286千円) ・児童育成クラブの適正な運営や質・サービスの向上に取り組みます。 ・民設児童育成クラブとの連携強化および質の向上のため、運営者会議を開催します。 ・児童育成クラブにおいて、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底するため、必要な物品等の購入、支援を行います。(事業費 24,400千円) 【成果目標】 ・待機児童を解消します。 ・支援員等研修(会)の開催回数 4回(令和2年度 3回)	分野:子ども・子育て・若者 施策:児童育成クラブの充実	①未来を担う子ども育成プロジェクト ⑥新型コロナウイルス感染症対策関連予算

